

2024年度 ANF会員企業訪問ヒアリング調査報告書

今年度も、出来る限り直接お話を伺えるよう訪問させていただきました。

調査票（アンケート形式）の設問には、ANFの事業へのご意見・参加ニーズ等をお伺いしており、得られた情報から可能な範囲で今後の事業に反映してまいります。

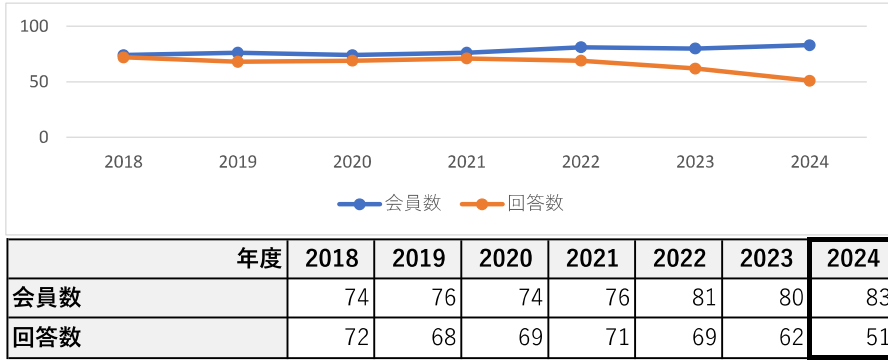
お忙しい中ご協力いただきありがとうございました。

ヒアリング概要

- 1）正会員85社（賛助会員・特別会員はヒアリング対象外）
- 2）ヒアリング調査期間 2024年6月10日 ～ 10月31日
- 3）ヒアリング実施結果（正会員85社のうち金融機関2社は除く）
 - ①ヒアリング対象企業 83 社
 - ②回答得られず 32 社
 - ③回答企業 51 社
 - ④訪問企業 38 社
- 4）回答率 61.4 %

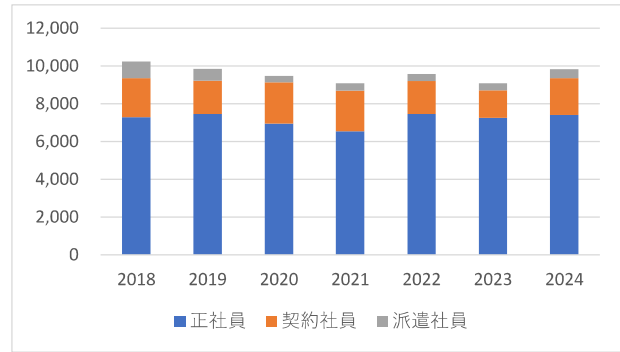
ヒアリング集約結果（設問に対する回答状況）

会員企業・回答企業数推移

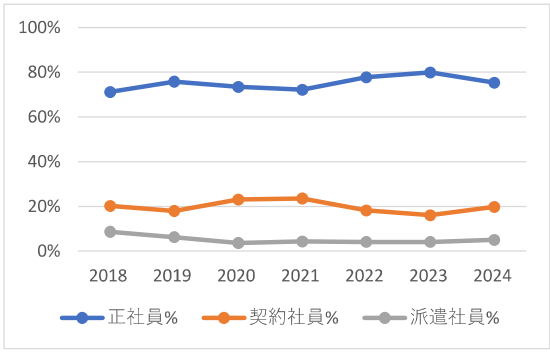


1. 社員数

社員数推移



社員構成比



年度	2018	2019	2020	2021	2022	2023	2024
正社員	7,284	7,453	6,945	6,548	7,448	7,250	7,404
契約社員	2,071	1,767	2,183	2,138	1,743	1,455	1,940
派遣社員	881	614	340	392	387	366	485
合計	10,236	9,834	9,468	9,078	9,578	9,071	9,829
年度	2018	2019	2020	2021	2022	2023	2024
正社員%	71%	76%	73%	72%	78%	80%	75%
契約社員%	20%	18%	23%	24%	18%	16%	20%
派遣社員%	9%	6%	4%	4%	4%	4%	5%

2. 仕事の状況

メイン事業の今後の見込み（1～2年）

		2024年	2023年	2022年
順調に成長		24%	21%	22%
現状レベル		49%	47%	51%
前年度レベル		10%	16%	10%
減産見込		10%	13%	9%
見通し立たず		8%	3%	6%
新規事業へ力点		0%	0%	3%

設備投資（年度内）予定？

		2024年	2023年
工場の増設予定がある		6%	8%
生産設備の投資予定がある		39%	48%
設備投資したいが敷地足りず		2%	3%
年度内に検討する		20%	10%
年度内の投資予定は無い		33%	31%

価格転嫁状況

		2024年
概ね価格転嫁できている		25%
一部は価格転嫁できている		57%
価格転嫁できていない		12%
交渉に至っていない		6%

今後事業への影響が懸念される要因

- ・原料高騰・値上（10）
- ・為替変動・円安進行（4）
- ・価格転嫁困難（3）
- ・中国（海外）経済の悪化（3）
- ・海外の政治・紛争動向（3）
- ・市場の縮小（2）
- ・客先投資見送り（2）
- ・最低賃金UP（2）

<その他>

気候変動・災害、コロナ後文化の変化、（法など）規制強化
業界変革、大企業の進出、海外シフト、ソフトウェア強化企業
客先トラブル、電気自動車の普及度合い、価格競争激化

<参考：2023年>

- ・人手不足（5）
- ・中国経済動向（6）
- ・エネルギー転換（5）
- ・更なる原料・副資材高騰（5）
- ・人件費高騰（5）
- ・協力企業の事業継続（5）
- ・設備投資停滞（5）
- ・少子化（2）
- ・事業転換タイミング（1）

<その他>

- ・予測困難（6）
- ※（n） nは意見数。

3. 人材確保状況

現在の要員充足状況

		2024年	2023年	2022年
ほぼ充足		51%	44%	43%
残業や休日出勤対応		39%	44%	42%
納期や受注調整対応		8%	11%	13%
余剰状況		2%	2%	1%
人員整理が必要		0%	0%	0%

今春（2024年4月）の新卒採用状況

		2024年	2023年	2022年
ほぼ計画通り		27%	37%	39%
計画の70%以上		8%	6%	7%
計画の50%		8%	18%	12%
計画の10%		2%	5%	3%
採用できず		31%	13%	23%
中途採用基本		24%	21%	16%

来年度（2025年4月）の新卒採用計画

		2024年	2023年	2022年
10名以上		6%	10%	9%
5～9名		6%	6%	10%
1～4名		53%	61%	59%
計画なし		10%	5%	7%
中途採用基本		25%	18%	14%

高校での企業説明会

		2024年	2023年
希望する		61%	69%
希望しない		39%	31%

4. ANF会員企業間取引（昨年度）

ANF会員企業間の取引

		2024年	2023年	2022年
取引があった		76%	71%	70%
取引はなかった		24%	29%	30%

取引形態

		2024年	2023年
買入があった		47%	40%
売入があった		45%	47%

5. ANF主催事業に関するご意見

「企業（技術）プレゼン会」への参加

		2024年	2023年	2022年
「参加」 自社プレゼン含		12%	18%	9%
「参加」 他社プレゼン聴講		24%	16%	17%
「参加」 工場見学に関心		73%	63%	41%
「参加」 ビジネス期待		14%	21%	21%
「不参加」 ビジネス期待無		10%	6%	10%
「参加」 自社工場見学希望		4%		
「参加」 地域外工場見学		22%		
「参加」 海外現地企業見学		6%		
その他		0%	2%	1%

「企業（技術）プレゼン会」活性化のアイデア

- ・ プレゼン企業の情報を事前に知れるようにし参加者の興味を喚起。
- ・ ビジネスのつながりや具体的なメリットが期待できる場。
- ・ 若い人向けに他社の組立工程や実践的な製造現場を見せる機会の提供。
- ・ 自社と同様な製造工程を持つ企業間での知見共有。

「企業（技術）プレゼン会」で見学したい企業や施設

- ・ IT（DX）の運用で成果を上げている企業や医療機器関連企業。
- ・ 工場設備・工具・モノづくりの基礎を学べる企業（特に多品種少量生産の組立工程など）。
- ・ 専門技術を持つ施設（大学、福島県ハイテクプラザ、東北大学ナノテラス、浜通りのロボットテストフィールド）。

「経営者会」取上げて 欲しいテーマ

- ・ 生成AIの種類別特徴と上手な活用法、中小企業向けのセミナー（2）
- ・ 事業承継、後継者育成関連の講演
- ・ B C P、情報セキュリティ関連の講演
- ・ 幹部向け講演
- ・ 取引条件改善に向けた国の対策や進捗状況、会員企業の現況等

<講演者>

- ・ トップ企業だけでなく、地元の優良企業の講演
- ・ トヨタ自動車(株) 豊田章男会長
- ・ (株)みちのりホールディングス 松本順社長。
- ・ 東洋システム(株) 庄司秀樹社長
- ・ (株)テムザック（サービスロボットの開発・製造・販売）高本陽一社長
- ・ 大規模就農工場の社長

「販路拡大」プロジェクトへの参加意思

		2024年	2023年	2022年
「参加・継続」		6%	8%	7%
「参加考えたい」説明欲しい		8%	13%	6%
「時期をみて参加」		37%	34%	33%
「不参加」		49%	45%	54%

「展示会への共同出展」

		2024年	2023年	2022年
「出展したい」		14%	11%	7%
「断念」費用負担大		10%	5%	1%
「出展はしない」		73%	82%	87%
他の展示会		4%	2%	4%

他に出席したい展示会

- ・他県含め、関連団体が主催しているビジネスマッチング
- ・人と車のテクノロジー展

「東北大堀切川名誉教授による御用聞き訪問・指導」

指導を仰ぎたい		8%	11%	13%
現在は来訪希望はなし		63%	63%	45%
来訪希望しない		29%	26%	42%

- ・これまで思いつかなかったような発想で新事業、新商品のアイデアをいただいています。
- その為、指導を希望される企業はリピートがほとんどの状況となっています。

「中堅社員の集い」の参加意思

		2024年	2023年	2022年
積極的参加		2%	13%	7%
「テーマ」で判断		67%	77%	78%
他社交流しない		10%	3%	14%
別途社外交流あり		22%	6%	

「中堅社員の集い」で取上げて欲しい「テーマ」

<テーマ>

- ・アンガーマネジメントやコーチング
- ・人材育成・課題解決等
- ・費用対効果の算出能力
- ・プレゼン力アップ
- ・従業員の意識の向上、向上心を上げるには何をすべきか。
- ・学び直し（リスキリング）
- ・具体的なテーマは無い。アナウンスが合ったものがマッチしていれば考える。
- ・交流は同業者、現場環境が同じような企業が望まれる。

※「中堅社員の集い」の機会に限らず、他の研修に盛り込むなど対応予定。

6. ANF主催セミナーへの参加意向

2024年				2023年
	希望社数	希望社%	予定人数	希望社%
2025年度新入社員研修	19	37%	28	58%
入社2年目以降の社員研修	4	8%	20	
QC検定講習2級	21	41%	19	21%
QC検定講習3級	19	37%	20	24%
保全基礎技能教育	12	24%	13	26%
危険体感教育	20	39%	41	42%

>一部を除き、20%以上の企業ニーズあり。来年度も継続開催する。

2024年				2023年
	希望社数	希望社%	予定人数	希望社%
生産性向上支援訓練（生産管理関連）	20	39%	22	42%
改善活動	13	25%		21%
ムダの発見、改善手段	14	27%		31%
ラインバランス	3	6%		15%
工程管理、生産計画	13	25%		27%
在庫管理	11	22%		16%
購買・仕入れ業務の理解	3	6%		15%
原価管理、損益分岐点、コスト削減	9	18%		26%
VA(Value Analysis)活動による原価削減	5	10%		11%
生産性向上支援訓練（組織マネジメント関連）	15	29%	13	35%
ダイバーシティ・マネジメント	2	4%		3%
リスクマネジメント	9	18%		10%
メンタルヘルス	7	14%		8%
ナレッジマネジメント	3	6%		5%
タイムマネジメント	4	8%		11%
問題解決力向上	12	24%		21%
業務プロセスの見える化（BPMN活用）	5	10%		10%
生産性向上支援訓練（安全衛生関連）	12	24%	11	31%
リスクアセスメント	10	20%		21%
未然防止	11	22%		23%
安全衛生パトロールについて	7	14%		19%
生産性向上支援訓練（品質管理）	13	25%	13	
QC7つ道具関連（基本）	8	16%		
QC7つ道具関連（実践）	6	12%		

ポリテクセンター会津の講座関連

	希望社数	希望社%
旋盤講習会	7	14%
フライス盤講習会	8	16%
製造現場のデジタル化	10	20%
中堅・ベテラン従業員のキャリア形成	17	33%
電気設備保全・修理のための基本（リレー制御装置編）	12	24%
自動制御設備のプログラミング（PLC制御編）	5	10%

MCなどを使用しているが基本を学ぶ為に活用する企業がある。継続開催を望む。

7. ANFに対するご希望・ご意見

【活動全般・全体に対する要望・意見・提案】

- ・ ANFの活動自体がマンネリ化状態。費用対効果、意義が薄れている。他地域の工業会などとの未来志向の交流会等を企画してはどうか。
- ・ ANF発足当時の目標？（検証）今後の新たな目標方針を明確化するのが良いのではないか。
- ・ 会津地域の関連企業が連携し「MEDE IN 会津」の物造りメーカーとしての製品の開発、請負からの脱却！を旗印にしてはどうか。

【事業に対する要望・意見】

- ・ 社会人としてのマナー（報・連・相、電話対応など）のセミナーを年3回ぐらい開催してほしい。
- ・ ロボットの開発者を育成する研修会を開催して欲しい。（隔週で10～15回位。開発、実務、AIなど）
- ・ 人材採用や人材育成などに注力したいので支援をお願いしたい。
- ・ 国や県の補助金利用にあたり、採択後、交付決定まで期間がかなり長く苦慮している。ANFからのバックアップや団体としての陳情などが出来ないものか。

【その他】

- ・ 販売カタログやイベントの周知の協力はありがたい。
- ・ セミナーの再案内など、忘れがちなので助かっている。

⇒ご意見も踏まえ、11/5秋の経営者会、11/16企業プレゼン会にて松本代表から方針説明を実施。

8. 会員企業ヒアリングから事務局が認識した課題、事業ニーズ等

1) 事業状況など

- ・ 省人化、省力化に伴う**自動化への設備投資の話が多く聞かれた**。その一方では、自動化の実現に対応する設計者が不足しており、請けきれていないとの話があり、自動化を進めたい企業では進めたい時期が遅れる影響が懸念される。
- ・ 価格転嫁に関しては、燃料費などの転嫁はできても**人件費の価格転嫁は難しい**との声が多かった。そこに最低賃金のUPが更に厳しさを増強している模様。

2) 人材確保など

- ・ 昨年同様、新卒採用が予定に満たない企業が多い。工場見学など、生徒が来れなくても、**保護者や先生にも来てもらい、会社を知ってもらいたい企業も多い**。
 - ・ **リクルーター向けに分かり易いホームページ作成**の為にセミナーなども希望されている。
 - ・ **企業の社会貢献も大きな選定要因**と認識されている。
- ⇒開催時期、ニーズなどご意見を参考にして改善し取り組みます。

3) ANF事業について

- ・ 顧客要求への対応など、会員企業などの取り組みを参考にしたい。
 - ・ 堀切川教授の御用聞き訪問へ関心を持たれている企業さんで、サンプル品のアウトプットができないということから、懇親会の場で教授との場を持たれるなど機会が作れた。
 - ・ 研修に関して、世代間の円滑なコミュニケーションを図りたいとのニーズは昨年同様高い。
- ⇒頂いたご意見を元に研修の見直し・企画実施を図り、企画提案も取り組んでいきます。

<参考情報>会員企業ヒアリングでお聞きしたお話を元にChatGPTで整理したものです。

※企業が特定されるような情報や固有の情報は漏洩しないよう匿名化の上で行っています。

下記の5つの分類はChatGPTによるものです。また、各内容に誤りはありませんので

参考としてお読みください。

1. 会員企業が抱える課題

1) 価格転嫁の難航

- ・原材料やエネルギーコストの高騰分が十分に転嫁されておらず、企業収益を圧迫している。
- ・大手取引先からのコストダウン要求や交渉の遅延が問題視されている。

2) 人材確保・人材育成

- ・新卒・中途採用は確保が難しく、採用後の教育・定着にも課題がある。
- ・若手社員が責任を持ちたがらない傾向や中堅層の育成不足が経営課題として浮上している。
- ・外国人労働者への教育・サポート体制も不足している。

3) 設備投資・デジタル化の遅れ

- ・老朽化設備の更新や自動化、省人化の進展が停滞している。
- ・生産現場のデジタル管理やデータ活用が十分に進んでいない。

4) 研修・教育プログラムの柔軟性不足

- ・研修内容や時期が実務に合わず、効果的に活用されていないケースが多い。
- ・管理職、中堅層、若手層ごとに異なるニーズに対応できていない。

5) ビジネスマッチング・販路開拓の停滞

- ・展示会やプレゼン会での具体的な成果が見えにくい。
- ・他地域や他業種との連携が不足し、新たなビジネスチャンスが広がりにくい。

2. 事業へのニーズ

1) 実践的DX・デジタル化推進支援

- ・現場のデジタル化や自動制御技術の導入支援。
- ・製造工程の見える化やデータ活用に関する実践的研修の提供。

2) 多様で柔軟な教育・研修プログラム

- ・若手・中堅社員向けにリーダーシップやマネジメント教育の強化。
- ・管理職向けのキャリア形成やマネジメント能力強化研修。
- ・中途採用者向けの基礎研修（報連相、業務基礎）を柔軟に実施。

3) 企業間連携とビジネスマッチング

- ・地域内外の企業間連携強化や共同展示会の開催。
- ・実効性のある広域連携や技術提携の推進。
- ・製造技術や特許技術の共同活用。

4) 効果的な補助金・助成金サポート

- ・助成金・補助金情報の提供と申請サポートの強化。
- ・活用事例や成功事例の共有。

5) 安全管理・保全技術教育

- ・危険体感教育や設備保全技術の基礎教育プログラムの提供。
- ・安全教育やメンタルヘルス対策の強化。

3. ANFへの意見

1) 教育・研修の柔軟性向上

- ・ 繁忙期を避けた日程設定、短時間研修の導入。
- ・ 実務に即した、即効性のある研修内容の提供。

2) ANF活動の方向性・ビジョンの明確化

- ・ ANFとしてのビジョンや方針を明確化し、会員企業と共有。
- ⇒（6月にいただいたご意見）ご意見踏まえ、11/5秋の経営者会、11/16企業プレゼン会にて松本代表から方針説明を実施。
- ・ 「仲良しクラブ」ではなく、具体的成果を生み出す組織運営。

3) 企業間マッチングの質向上

- ・ 展示会や企業プレゼン会の実施目的を明確化し、効果的なマッチングを推進。
- ・ 成果につながらない中途半端なマッチングは避ける。

4) 地域外との連携強化

- ・ 他地域・他業種との積極的な連携強化。
- ・ 「Made in AIZU」ブランドの発信強化、効果的なPR活動の推進。

5) 人材確保と外国人労働者支援

- ・ 外国人材の受け入れに関する教育・サポートの充実。
- ・ 若手や中堅社員のリーダーシップ・責任感の向上を目指した教育。